

幼 児 の 教 育

昭 和 八 年 一 月

新を喜び新を願ふ

新らしき園舎、新らしき遊園、新らしき年の始め、こゝに園児を迎へて、われ等に今新らしき喜びがある。

しかも、此のすべてが新らしき中にあつて、何よりも最も眞實に新らしきものは子ども等の心である。日に新たに、日に新たに、また日に新たなるべき子ども等の心である。

ものは時と共にふりゆく。生長する心は時と共に新らしきものを生む。新は新を生むが故に眞に新であるを思ふ時、子ども等の心こそ無限に新らしい。

願はくは、新園舎と新遊園とを、子ども等の心によつて永遠不斷に新らしからしめんことを。今日新らしきが如く明日も亦新たならしめんことを。新築の日を右に刻みて録し留むると共に、願はくは、日々に新らしき幼稚園を子ども等の心に日々に新生せしめんことを。(昭和八・一・九)

(倉橋惣三)